



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
 東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
 電話 03-5315-0941
 2022年2月17日 発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子
 第733号 毎月1回20日発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>



第48回定期中央委員会

コロナ対策のため、発言をアクリル板のある演台に限定し、マイクの消毒などを行っています。

スローガン

**JR東労組結成35年!組合員の雇用と利益を守り抜くことを最大の価値基軸に
 「抵抗とヒューマンイズムの精神」を育み、あらゆる現実に向かい、22春闘勝利!
 過半数代表選勝利! 総合労働条件改善の実現! をめざしたたかい抜こう!**

2月10日、JR東労組は「第48回定期中央委員会」を開催しました。新型コロナ対策としてリモート会議システムを活用し、時間を縮小して開催しました。

来賓のJR総連・山口委員長からは、JR総連各単組の春闘の状況についての紹介や、今後組織再編によってさらに「成果、が求められていくことから、仲間の安全と健康を守るため、議員懇を通じて政治と連携して労働者保護を進めていくことなどが語られました。

質疑では12名の委員から発言があり、組織強化・拡大の教訓や施策への向き合い方について議論を深めました。

そして、22春闘について、施策を真面目に議論し担っているからこそ「定期昇給(昇給係数4)の完全実施」を一切揺らぐことなく求めると共に、JR総連春闘として統一してベアを求めていくこと、そして「総合労働条件改善」を22春闘と結実させて取り組む方針を満場一致で決定し、終了しました。

【22春闘と総合労働条件向上】方針決定!

- ◆ JR総連春闘として「ベア要求満額獲得」「定期昇給完全実施」「年功賃金・生涯賃金の減額反対」「ジョブ型雇用導入反対」を掲げ、
ベア一律6,000円を要求
- ◆ エルダー組合員の基本賃金6,000円引き上げを要求
- ◆ 定期昇給(昇給係数4)の完全実施を要求
- ◆ 21春闘における「定期昇給」カットの課題解決を目指し要求
- ◆ 「第二基本給制度」の凍結を要求 ◆ 65歳定年制を要求
- ◆ 総合労働条件改善の要求実現に向けて取り組む

【特徴的な承認事項】

定期委員会をスムーズに
 進行した議長団の皆さん



折笠委員(横浜)



新保委員(大宮)

- ◆ 「組合費の更新手続きの変更について」の議論を開始
 新JINJREシステムへの移行に伴い、組合費が「自動計算」ではなく「組合員と役員の対話」に基づく更新手続きに変更となります。このことを全組合員で職場討議し、今年6月の第41回定期大会にて採択を行うことを決定しました。(詳細は別途討議資料を発行します)
- ◆ 今後の組織・財政方針策定に向けた議論を開始
 10~15年先を見据えた組織・財政方針に関わる議論を「組織財政検討委員会」に付託し、今年6月の第41回定期大会で答申を受けていくことを決定しました。
- ◆ 2つの制裁審査委員会を設置
 - ① 中山透君(規約第60条第1項(1)(2)(3)に違反する行為)
 - ② 中山透君、松本紀行君、杉山晃君、佐藤麻美君、恩田孝美君、宮口今朝美君(第40回定期大会で決定した制裁答申に対する再審査請求に基づくもの)

う。的に発信し、議論を深めよう。(K・A)

が、ある学校では震災以前から度々発生していた津波の歴史を教訓化し、それを自分たちで議論し考えてきたことで「想定外」の大津波から命を守ることにできた▼会社は様々な施策を矢継ぎ早に打ち出しているが、私たちはこれまで、働きやすい職場と安心して生活できる労働条件を目指して議論を深め、団体交渉を通じて「労働協約」に高めてきた▼JR東日本発足以来最大の改革を迎え、その積み重ねを教訓に「安全・健康・ゆとり」のある未来の職場をどうつくるかを議論することが重要である。想定外な職場と労働条件にならないよう、一人ひとりが主体的に発信し、議論を深めよう。



東日本大震災から間もなく11年。未曾有の災害に對し、どのよう